

熊の生態を知る

－クマの生態を知り、山・森を深く味わおう－



←和名倉山頂上から二瀬分岐への途中、苔むすシラビソ

↓和名倉山仁田小屋尾根、仁田小屋裏で



昨年度の熊の出没件数は5万件を超え、人身被害も過去最悪の水準。駆除数は9765頭。(朝日新聞)
もちろんクマの異常とも思える行動に警戒するのは正しいが、元々、山間部は熊の棲家である。熊の生態を知り、森で何が起きているかを想像し、用心する方法を学ぼう!!そして山・森をより深く味わおう!!

令和8年11月8日【日】

時間 13:30～15:00
(15～16時 茶話会)

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料

講師を囲んだ茶話会(茶菓付き)も無料

定員 先着60名
(要事前申込)

会場 高鼻コミュニティセンター
さいたま市大宮区高鼻町2-292-1 徒歩大宮駅20分北大宮駅11分

申込 氏名、所属(任意)、茶話会参加の有無をメールで下記に
info@100nen-forest.org 問合せ先: 080-6567-2152(高岡)



講師

中下留美子 博士



神奈川県平塚市出身。東京農工大学大学院連合農学研究科修了(農学博士)。国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 野生動物研究領域 鳥獣生態研究室 室長

大型野生動物、主にクマ類の生態を研究している。特に、ツキノワグマの食性や行動を手がかりに、人と野生動物のあいだに生じる軋轢問題に取り組んでいる。

また、学生時代よりNPO 法人信州ツキノワグマ研究会に携わり、普及啓発活動をライフワークとして続けている。